

2019



論壇

Contribution to
JAHA



もっと、 はたらくトラック・バス

日野自動車
代表取締役社長
最高経営責任者
下 義生

「はたらくクルマ」の存在意義

自動車業界は、100年に一度と言われる大変革期の真っ只中にあります。背景には、自動運転や電動化、ICTといったテクノロジーの進歩のみならず、少子高齢化や人々のライフスタイルの変容による、自動車の使い方や自動車に求められる価値の多様化・高度化があることは間違いありません。

こうした大きな流れの中で、自動車を取り巻くさまざまな課題も顕在化しています。これは、暮らしと経済を支える商用車の領域でより顕著であり、その公共性の高さゆえ喫緊の対応が求められています。たとえ

ば、多くの人命を預かるバスの事故をいかに防ぐか、物流の約9割を担うトラックのCO₂排出量をいかに減らすか。そして、昨今とくに事業用自動車のドライバー不足が深刻化しています。Eコマースの拡大、消費者の好みに応える多品種少量の品揃え、これらは人々の暮らしを豊かにしている一方で、非常にきめ細かい物流が求められます。一方、人流においては、高齢化や過疎化に伴って、移動手段に困っておられる方も増加しています。

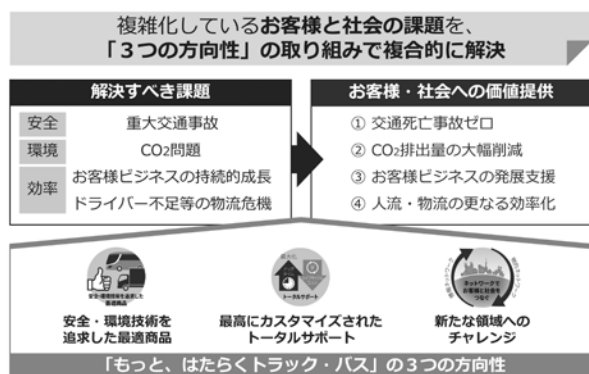
経済の動脈である物流、そして人々の自由な移動を支えるトラック・バスを手掛ける企業として、「社会やお客様に貢献し続ける」という軸なくしては、会社の存在意義はありません。私たちは「はたらくクルマ」で世の中の役に立っていかねばならない。この危機感と使命を込めたのが、「もっと、はたらくトラック・バス」というスローガンです。

3つの方向性

そのための方向性として、次の3つを掲げています。まずは、「安全・環境技術を追求した最適商品」です。「安全」は最優先であり、ひとたび事故が起こった時の被害の大きさからも、商用車メーカーとしての社会的



「もっと、はたらくトラック・バス」



「Challenge2025」

責務であると考えています。そして、世の中のためにはたらくクルマであるからこそ、環境負荷が低くなければなりません。

次に、「最高にカスタマイズされたトータルサポート」です。商用車は、お客様のもとで10年以上使われます。その間、しっかり稼働してこそ価値を生み出します。適時・適切なメンテナンスでお客様の車両一台一台を常に最適な状態に保ち、安心してお使いいただく。そしてお客様に寄り添い、ビジネスの課題解決のために様々なお手伝いをしていく。これが日野の「トータルサポート」です。

最後に、「新たな領域へのチャレンジ」です。社会やお客様の抱える課題が複雑化する中、それを解決していくためには、車両を販売してサービスを提供するという従来の事業領域を超えた新たな価値の創出が必要です。物流そのものを効率化できないか、公共交通を最適化し持続可能なものにできないか。たとえば、車の情報に、ドライバーや荷物、物流拠点、道路状況、天候といった物流や人流を取り巻くあらゆる情報を連携させることで、新たなソリューションの可能性が見えてきます。物流・人流に携わる企業として、日野が何をすべきかを私たちは日々考え、挑戦を続けています。

2025年に向けて

「もっと、はたらくトラック・バス」と3つの方向性に基づき、現在取り組んでいるのが2025年に向けた経営戦略「Challenge2025」です。今年はその初年度として、さまざまな取り組みを進めてきました。ドライバーに万一のことがあった場合に車両を自動で停止させる「ドライバー異常時対応システム」を標準装備した大型



日野プロフィア ハイブリッド

観光バス「日野セレガ」、CO₂ 排出量の大きい大型トラックの燃費向上を実現した「日野プロフィア ハイブリッド」を発売しました。お客様ビジネスの発展支援に向けては、ICTサービス「HINO CONNECT」をトラック全ラインナップに対応させるとともにサービス内容も拡充、お客様にご好評をいただいています。お客様のニーズに最適な形で車両とサービスを提供するためのファイナンス会社「MOBILOTS」も営業を開始しました。そして、人流・物流の効率化に向けて、志を同じくする仲間との取り組みの輪も広がっています。安心・快適なモビリティ社会の実現を目指す MONET Technologiesやデジタル化で物流の課題解決を推進する Hacobu との提携をはじめ、地域公共交通の最適化に向けた自治体との連携も開始しました。

「豊かで住みよい持続可能な社会」の実現に向け、今後も取り組みを加速してまいります。

おわりに

私たちのお客様にとって、トラック・バスは仕事の「道具」です。大きなパラダイムシフトが起こりつつある今、日野は「道具」の提供にとどまらず、「道具」の持つ可能性をもっと引き出して、物流や人流における社会課題を解決し、さらに新たな価値を創出していきたいと考えています。

すべての人が豊かさを享受できる持続可能な社会の実現のために、日野は「もっと、はたらくトラック・バス」を追求してまいります。